



H=1:500
V=1:100

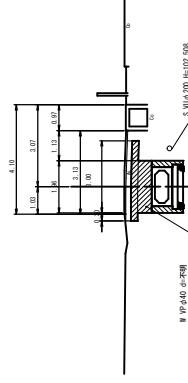
[illegible]

經度/緯度	經度	緯度
年度	令和5年度	北緯35.35°
河川・湧水 地名	荒川	荒川第三排水区雨水調整工
流域 地區・名	荒川	荒川第三排水区雨水調整工
工事名	荒川第三排水区雨水調整工	
地 名	荒川第三排水区雨水調整工	
図 面 名	(市域) 平瀬図・榎新田図	
縮 尺	平面 1:500 縦 1:100 横 1:500	
図面番号	154号ノ内3	

横断面図 (3)

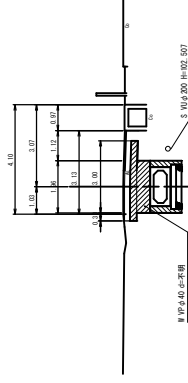
NO. 0+39. 60

GM-104.20
FM-102.45



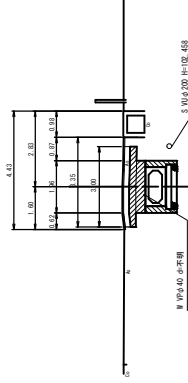
NO. 0+40

CH-104, 20
CH-105, 157



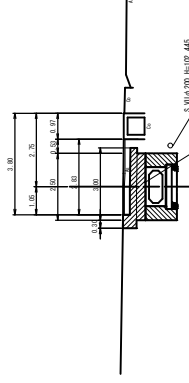
NO. 0+55. 70

000104.31
000108.877



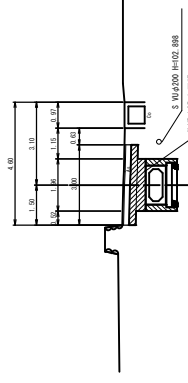
NO. 0+60

GM 104, 32
FM 104, 150



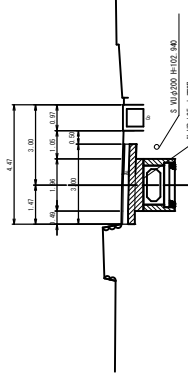
NO. 0+68. 60

2000



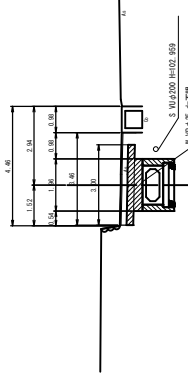
NO. 0+80

01-14-25



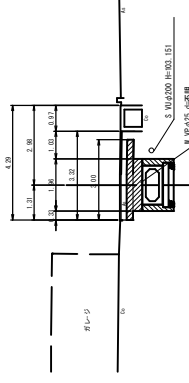
NO. 0+85.50

0-100%



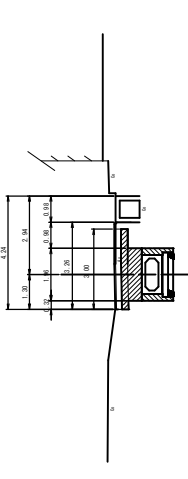
NO. 1

Q=KM, M



NO. 1+17. 30

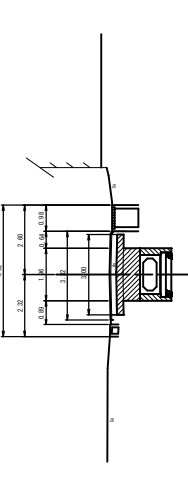
GM=104, 63
FM=108, 60



一次項目		
二次項目		
標準値 A	国ぐく基準ぐく値	0.8
標準値 B	(1.5倍ぐく値)	1.0
適用規定		
構造設計仕様書、		

NO. 1+20

000104, 198

 $DL=100.00$

一次支付			
二次支付			
租赁 A	$100 < 118.09 < 120$	5.0	
租赁 B	$118.09 < 120$	2.0	
融资租赁			

融资租赁为优。

工 种 名	灌 木 苗 的 栽 植
地 名	取 氏 庄 苗 圃 施 育 地
图 面 名	播种育苗图(2)

縮尺	S=1:100
図面番号	16 枚ノ内 5


長浜市都市建設部北部建設局北部建設課

認可、業種	第 圖変更
年度、事業 名称	令和年度 北郷第35号
所在地	南丹第3排水区雨水幹線
工事名	南丹第3排水区排水干線雨水幹線延長工事
地名	長岡市南丹町南丹
図 面 名	構断面図 (2)
縮 尺	5:1=100
図 面 番 号	16 枚 / 内 5

北郷市都市計画建設部建設課北郷建設部北郷建設課


※ 耐燃性難燃手付ボックスカバー（バー）は、所要の耐燃項目を満足する耐燃性難燃手付用のものを使用すること

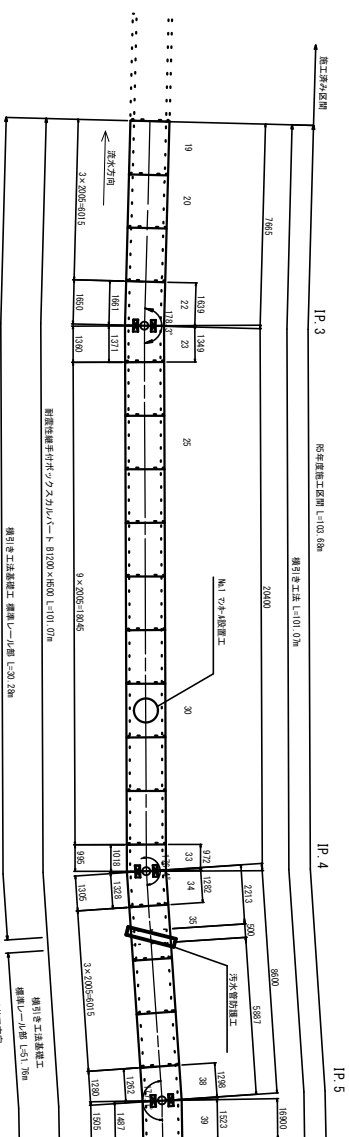
※ 耐燃性難燃手付ボックスカバー（バー）又は引き寄せ可能なボルトを使用する箇所を示す。

※ 図面上の  は施力ボルト又は引き寄せ可能なボルトを使用する箇所を示す。

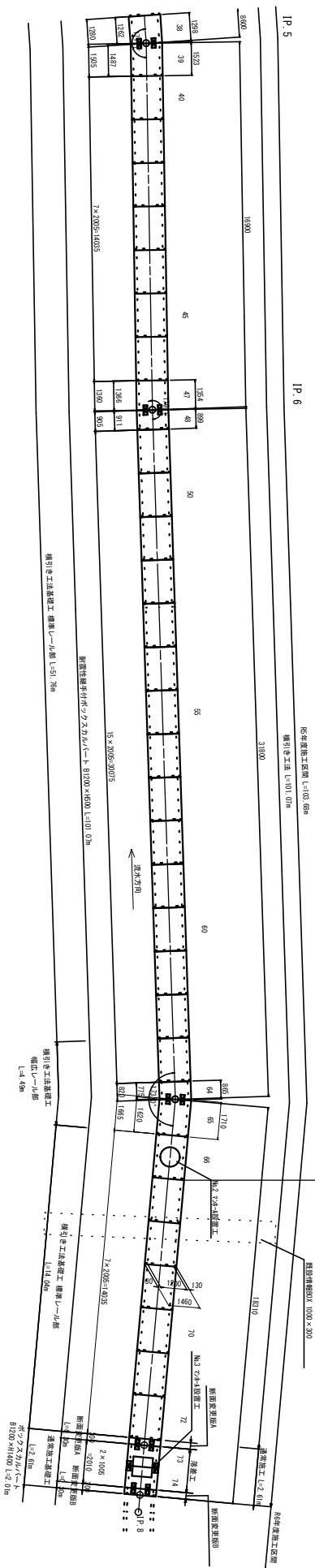
※ 煙層厚 90mm/4 階を超過する為、耐燃性難燃手付製品は本通り 5mm を生かすことと製品等で配列図を作成。

※ 煙層厚 90mm/4 階を超過する為、耐燃性難燃手付製品は本通り 5mm を生かすことと製品等で配列図を作成。

※ 耐震性握手付ボックスカバー（バー）は、所要の耐震項目を満足する耐震性握手付機器のものを使用すること。
※ 耐震性握手付ボックスカバー（バー）又は引き寄せ可能なハンドルを使用する箇所を示す。
※ 図面上の  は強力ハンドルを使用する箇所を示す。
※ 標準項目地盤面m/ヶ所を確保するため、耐震性握手付製品本体当りに5mmを余分に製品長さで配列図を作成。



※横引き工法の施工方向が変わる箇所の製品の落し込み等については、別途考慮すること。



※既設情報BOX付近より上流側については、テルホールを用いて施工を行うが、工事発注後に製品製造メーカーと打ち合わせを行うこと。

折角	算式	延長	敷設設備
折角 0度~30度未満	89.44	89.44 m	取り壊しなし

一式当り

種 別	数 量	単 位
マンホール設置工	2	箇所
マンホール設置工事整工	2	箇所

R5年度区間 ホツクスカルバート付帯工数量表

B (mm)	H (mm)	L (mm)	数量	単位	No.	備 考	
			36	本		標準	
			2	本	30.46	標準・建設費(10%)・運送費(本行・近所)・税金(2%)	
			1646	1	本	22	材料(1566/1346)・スカーフト・ボルト・通眼用金具付
			1355	1	本	23	材料(1366/1346)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付
			900	1	本	33	材料(1012/900)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付
1200	500	1300	1	本	34	材料(1322/1275)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		1275	1	本	35	材料(1322/1251)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		1500	1	本	39	材料(1566/1426)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		1355	1	本	47	材料(1366/1346)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		900	1	本	48	材料(906/884)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		815	1	本	44	材料(806/770)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
		1450	1	本	45	材料(1455/1415)・オスカフト・ボルト・通眼用金具付	
合 計			48	本			

※ ボックスカルバートは耐震性ゴムリング継手付とする。但し、メスカット・オスカット部には、耐震性ゴムリング継手の取り付けは無しとする

※ ホックスカルパートは横引き工法用ガイドの取り付け付けを標準とするが、通常施工と表記の箇所はガイドの取り付けは無しとする。

型別・異組	① 第 1 回 図面更新
年度・年度	令和 5 年度 北陸地区30号
種 名	高野川3号水田用水利補給
川 名	
流域地名	
市 区 名	
工 事 名	高野川3号水田用水利補給工事
地 名	高野川高野川流域
図 面 名	ア14号かんがわかんべー工 配分図
幅 尺	図面尺
図面番号	16号ノ内 6

長浜市都市建設部北部建設局北部建設課

プレキャストボックスカルバート工詳細図(2)

標準断面図(2)
(R5年度区間)

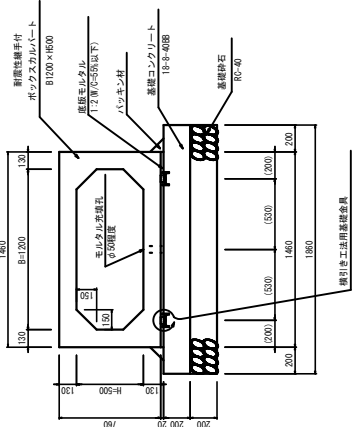
ボックスカルバート
橋引き工法基礎工

設計条件

項目	単位	数値
内空断面	m	1.20×0.50
橋桁重	—	1-2 鋼筋・橋脚
雪荷重	kN/m ²	考慮しない
設計土盛り	m	0.80m～1.20m
地質等	—	レベル1・レベル2 橋方向・縦方向
外水位	m	0.00mは差り(0.80m) 0.16mは差り(1.20m)
内水位	m	0.50m
鉄筋コンクリート	kN/m ³	24.5
アスファルト舗装	kN/m ³	22.5
裏込め土	kN/m ³	18
コンクリート設計標準強度	N/mm ²	25
コンクリート軸圧縮強度	N/mm ²	11.7
コンクリート軸圧縮強度	N/mm ²	0.26
鉄筋引張強度 (SD25)	N/mm ²	160
土圧係数	—	1.00
橋桁係数	—	0.5
橋脚係数	—	0.3
基礎形式	—	直接基礎
地盤反力	kN/m ²	75
耐震性能評価位置 (レベル1・地盤剛)	mm	10mm
耐震性能評価位置 (レベル2・地盤剛)	mm	10mm

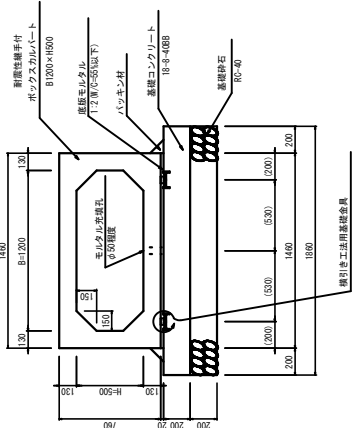
B1200×H500
標準レベル部

(橋脚工法・縦筋橋脚間隔=1.50m)



B1200×H500
橋広レベル部

(橋脚工法・縦筋橋脚間隔=1.50m)



橋引き工法基礎工数量表 (B1200×H500 標準レベル部)

名称	規格	数量	算式
底版モルタル	1:2灰(含5%以下)	0.29 m ³	1.46×0.02×10.00
パッキン材		20.00 m	10.00×2
基礎コンクリート	18-φ40B8	3.72 m ³	1.86×0.20×10.00
レベル (側壁)	H=100×50×5×7	186.00 kg	9.30×10.00×2
ベアリング (橋脚)	φ11・300個/m	7.200 個	300×10.00×2
レベル設置用金具	等辺山形鋼 6×50×50	66.50 kg	6.65×10.00/2.00×2
基礎砂石	R5-40	18.40 m ³	1.86×10.00

※ ガイドは工場でボックスカルバートに取り付けるものとする。

※ 橋引き工法用レベルの上に底版モルタルを設置。

※ H100(100×50×5×7)単位重量 = 9.30 kg/m

※ 等辺山形鋼(6×50×50)単位重量 = 4.43 kg/m

※ レール設置用金具(橋脚)重量 = 4.43×0.50×3 = 6.65 kg

※ 図中()内の数値は参考とし、レベル設置位置は施工前に確認を行うこと。

※ ガイドやモルタル充填孔位置については、製品製造メーカーと打ち合わせを行うこと。

橋引き工法基礎工数量表 (B1200×H500 橋広レベル部)

名称	規格	数量	算式
底版モルタル	1:2灰(含5%以下)	0.29 m ³	1.46×0.02×10.00
パッキン材		20.00 m	10.00×2
基礎コンクリート	18-φ40B8	3.72 m ³	1.86×0.20×10.00
レベル (側壁)	H=125×40×6×8	262.00 kg	13.10×10.00×2
ベアリング (橋脚)	φ11・450個/m	9.000 個	450×10.00×2
レベル設置用金具	等辺山形鋼 6×50×50	66.50 kg	6.65×10.00/2.00×2
基礎砂石	R5-40	18.40 m ³	1.86×10.00

※ ガイドは工場でボックスカルバートに取り付けるものとする。

※ 橋引き工法用レベルの上に底版モルタルを設置。

※ 橋広レベルは側壁(125×40×6×8)を特殊加工(上壁をカット)したものを採用。

※ 等辺山形鋼(6×50×50)単位重量 = 4.43 kg/m

※ レール設置用金具(橋脚)重量 = 4.43×0.50×3 = 6.65 kg

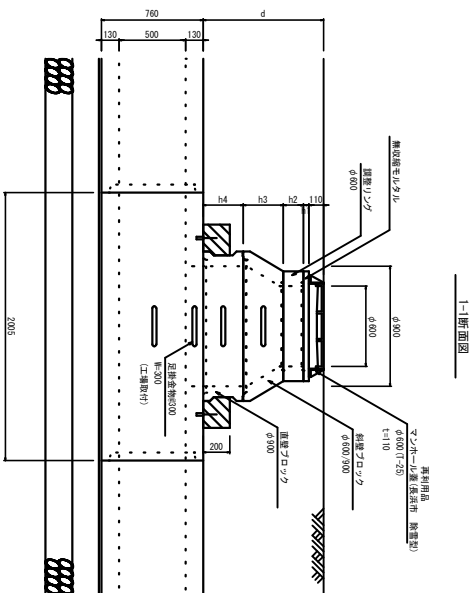
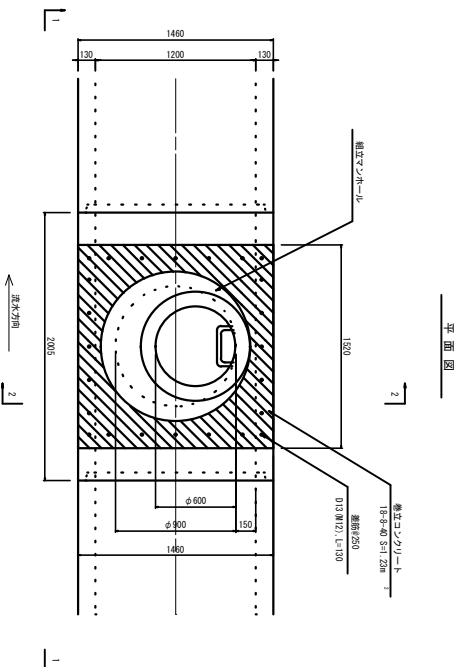
※ 図中()内の数値は参考とし、レベル設置位置は施工前に確認を行うこと。

※ ガイドやモルタル充填孔位置については、製品製造メーカーと打ち合わせを行うこと。

認可・業種	国土新 国営更
年度・番号	令和5年度 北 建設第15号
河川名	高月第3排水区雨水幹線
路線名	高月第3排水区雨水幹線
地区名	高月第3排水区雨水幹線
工事名	高月第3排水区雨水幹線
地名	高月第3排水区雨水幹線
図面名	プレキャストボックスカルバート工 詳細図(2)
縮尺	図示
図面番号	16 枚ノ内 7
長野県建設部建設部北建設局高月建設課	

No.1・No.2 フォール設置工

S=1:20



マントル工						
マントル工						
No.	Box No.	開口座	計測距離	頂部天吊高	頂部底高	土壁寸
1	30	φ900	FH1	FH2	FH3	d (m)
			104.31	103.44	102.81	0.87
2	66	φ900	104.69	103.66	103.03	1.03

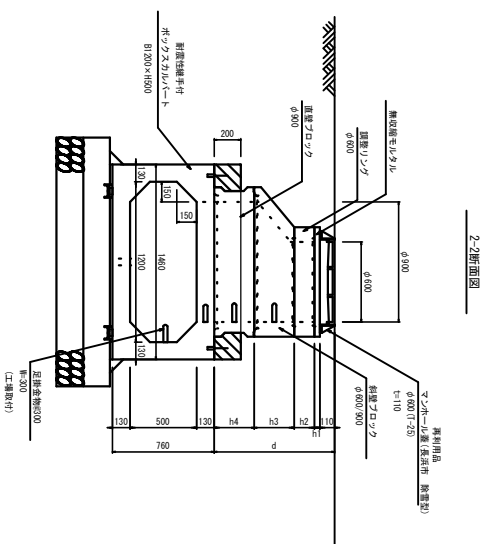
※マーンホール高は暫定的であり、工事発注後に現場にて測量を行い高さ関係を再度確認すること。

[illegible]

準立コンクリート製橋梁			一断面当り
名称	規格	数量	算式
コンクリート	準立40B	0.25 m ³	1.23×0.20
型枠	小型	1.19 m ²	(1.52+1.46)×0.20×2
遮断板(2345)	0.13×0.12×1.00	24 本	0.13×0.12×24m

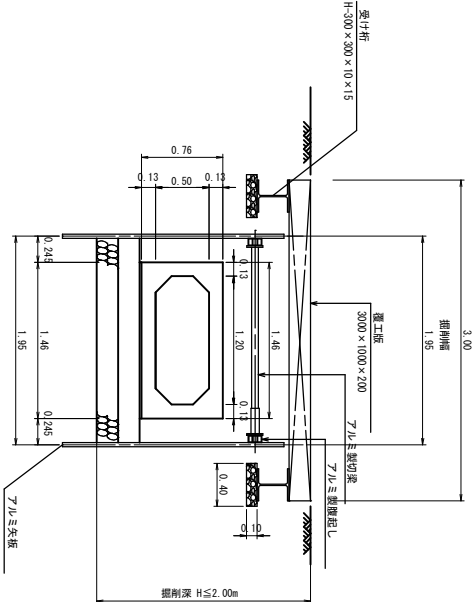
※ 薬房とポツスカムバーとは、コンクリートファンキー等を用いて現場にて複製させる
※ 薬房は木切り厚30mmは、製品工場にて準備し、コンクリートファンキーは、工場にて
製品に取付けを行うこと。
※ なお、製品の薬房と干渉する場合は、コンクリートファンキーの位置をずらすこと。
※ 図14に取付け付け薬房については、ポツスカムバーの位置表で計上。

※ B0X1に取り付ける基筋については、ボツクスカルバート数量表で計上。

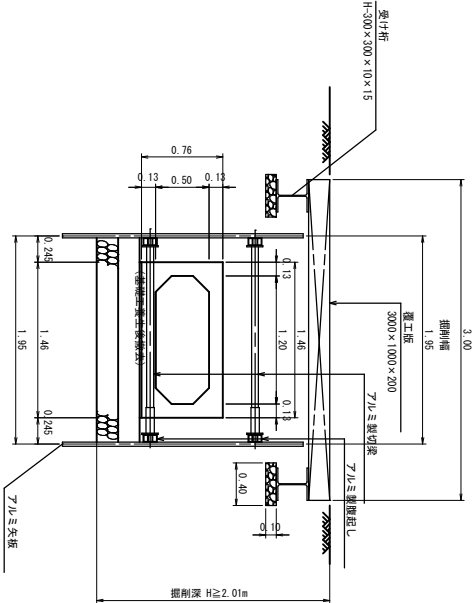


認可：黄組	第 1 種 田 更 更
年度：番号	令和5年度 北進第35号
川 名	高井川3号水取用水利組
所属地区名	高井第3号水取用水利組(高井地区農協)工事
工 事 名	
地 名	長崎市高野町高井
図 面 名	「イキナシキ」カナルハート工 詳細図(6)
縮 尺	同示
図面番号	16 枚入 内 9

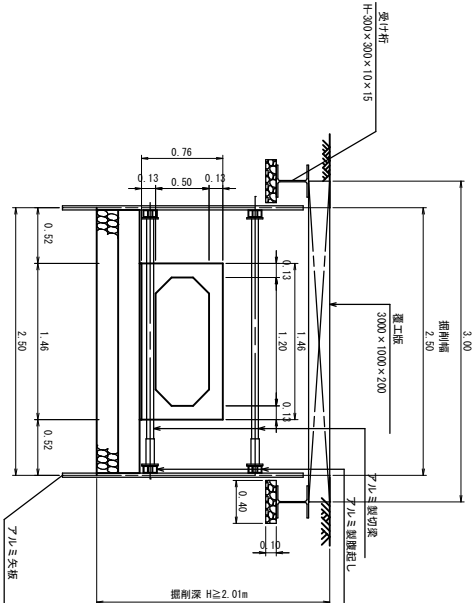
横引き工法部



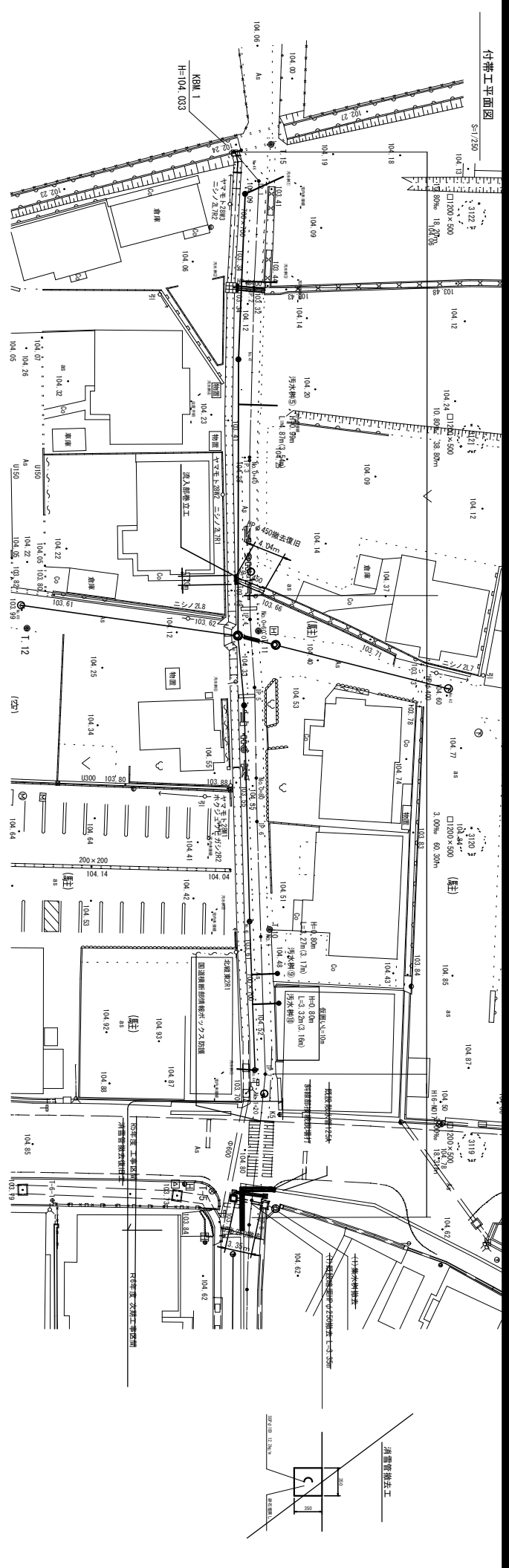
横引き工法部



横引き工法部
(掘入口)



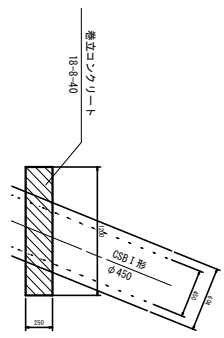
図面番	図面名
令和5年度 北越第35号	雨水土留め標準図
図面番	雨水土留め標準図
図面尺	1:25
図面番号	16 図ノ内 10



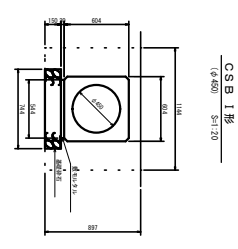
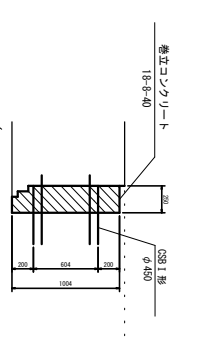
付帯工平面図

流入部巻上工

平面図



断面図



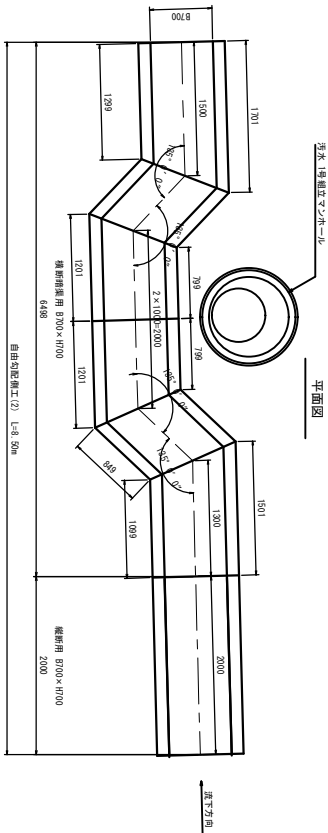
数量表 (単位: ㎡)			
区分	種別	面積	数量
1	CSB I 形	4.17	1
2	CSB I 形	0.10	1
3	CSB I 形	7.44	1
4	CSB I 形	7.44	1

項目	内容
図面番号	付帯工平面図
縮尺	5:1 20:1 1:20
図面備考	1. 設計 2. 内 11
年度・期	令和年度 北建築3号
河川名	高月第3排水区雨水幹線
地区名	高月第3排水区雨水幹線工事
地名	高月第3排水区雨水幹線工事
図面名	付帯工平面図
縮尺	5:1 20:1 1:20
図面備考	1. 設計 2. 内 11

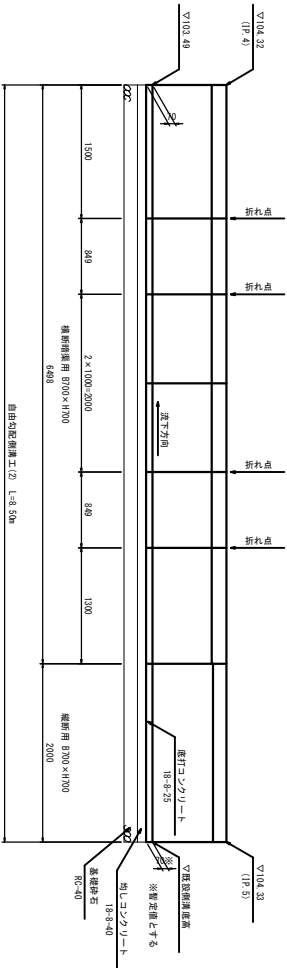
自由勾配側溝工構造図

自由勾配側溝工

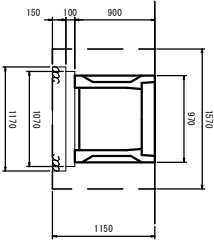
5~1.30



側面図



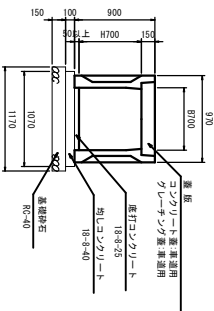
土工断面



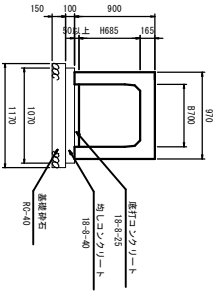
標準断面図

5~1.30

縦断面



横断面



自由勾配側溝工数量表 (共通)

10m当り

名 称	規 格	数 量	算 式
埋込マンホール	18-8-40	1.07 個	1.07×0.10×10.00
埋込マンホール蓋板		2.00 枚	0.10×10.00×2
基礎砕石	RC-40	11.70 m ³	1.17×10.00

埋込マンホール数量表：自由勾配側溝工(2)

名 称	種 別	算 式	数 量	単位
埋込マンホール	18-8-25	0.70×0.07×8.50	0.42	m ³

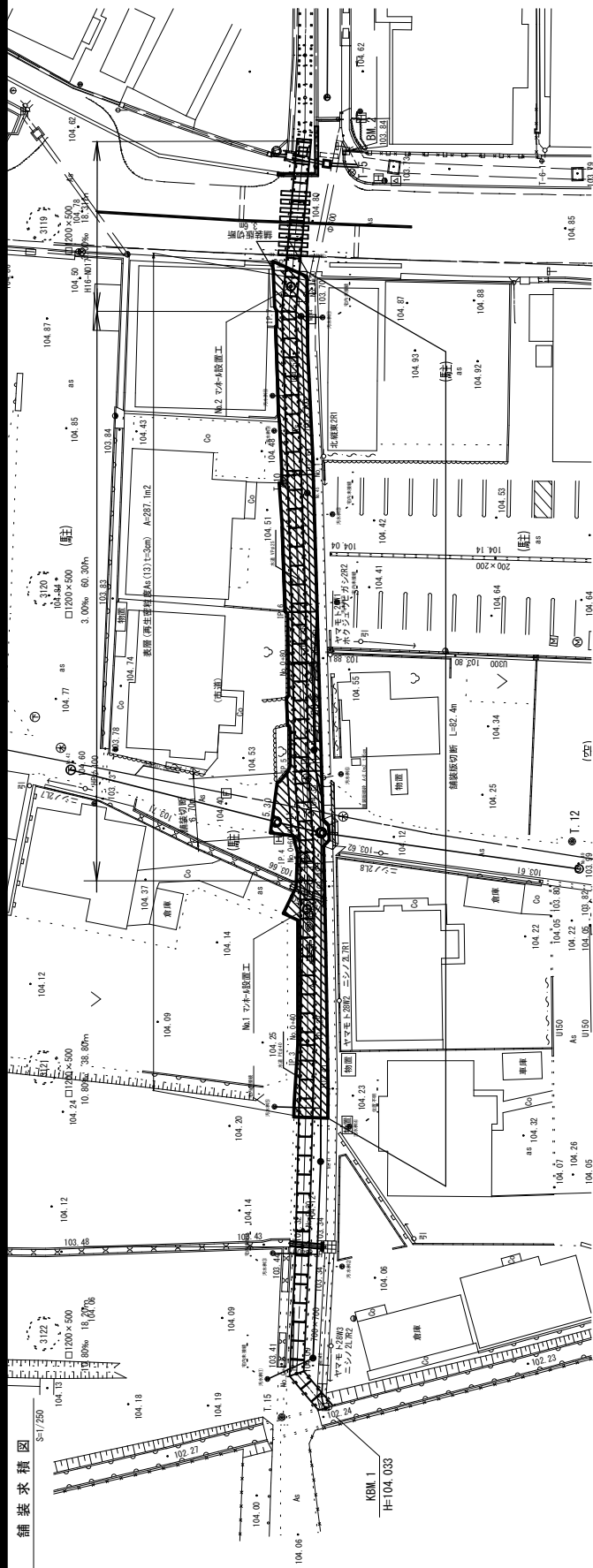
一式当り

自由勾配側溝工数量表：自由勾配側溝工

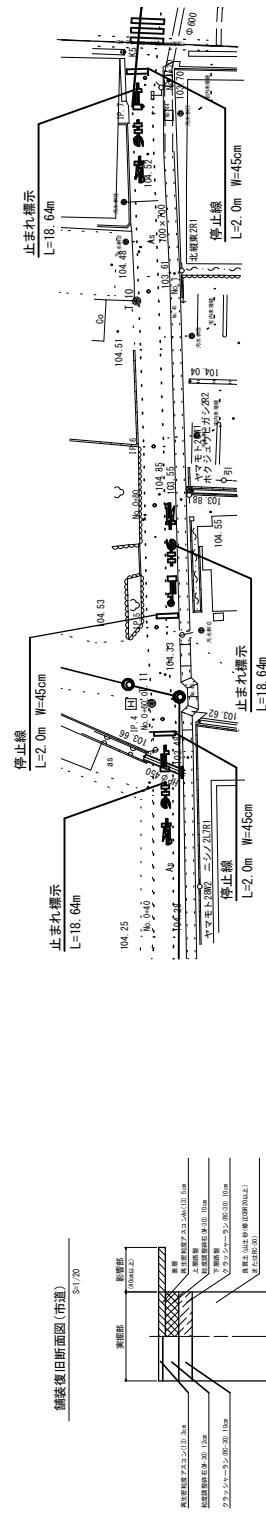
一式当り

B (mm)	H (mm)	L (mm)	タイプ	数 量	単 位	備 考
700	700	2000	標準用	1	本	標準
700	700	1500	埋込用	1	本	片割切(1701/1299)
700	700	1300	埋込用	1	本	片割切(1501/1099)
700	700	1000	埋込用	2	本	片割切(799/1201)
700	700	849	埋込用	2	本	片割切(849/849)
合 計				7	本	

図説 実施	備 考	図 説 更
年度 番号	令和5年度 北道第31号	
河 川 名	高月第3排水区排水幹線	
路 線 名		
地 区 名	高月第3排水区排水幹線工事	
工 事 名		
地 名	長浜町高月町高月	
図 面 名	自由勾配側溝工構造図	
縮 尺	図示	
図 面 番 号	16 第1図 12	



区画線復旧



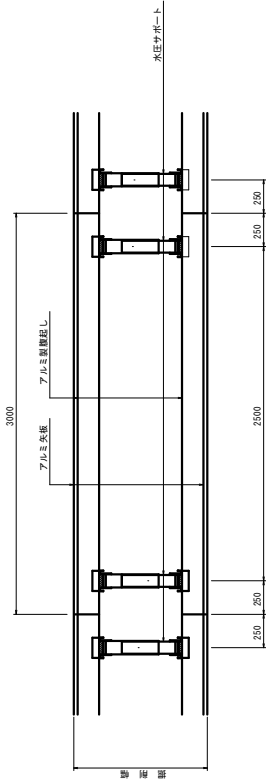
臨時	新築	新築更
年度、番号	令和5年度 北第35号	
所屬地区名	高井原区緑地区水戸林組	
工事名	高井原第3期市道雨水排水工事業 高井原第3期市道雨水排水工事業	
地名	長沼町池田有町南片	
図面名	鋪装完成図・既設縁石位置図	
尺	5×1250 1/20	
図面番号	16 枚 / 内 3	

提出書類の名称は平成28年度の図面に準拠する。

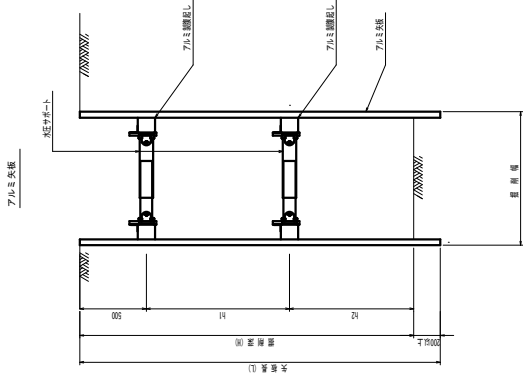
汚水土留工標準図

S=1:20

平面図



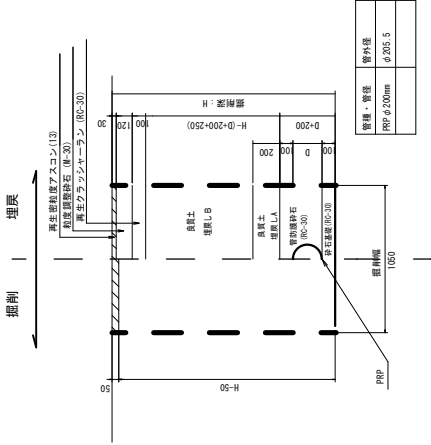
断面図



土工標準図

S=1:20

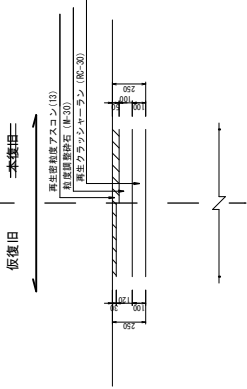
市道部



路面復旧図(区間)

S=1:20

市道部



数値一覧表 (アルミ矢板)

壁 高 (m)	矢板長 (m)	矢板間隔 (mm)	埋戻し材料 (t)	切戻し材料 (t)	切戻し材料 (t)	備考
1.51~1.80	2.00	有効幅 3.0m	埋戻し 1.0 以上	1	75	埋戻し 100%
1.81~2.10	2.50		埋戻し 1.0 以上	1	75	埋戻し 100%
2.11~2.40	3.00		埋戻し 1.0 以上	2	75	埋戻し 100%
2.41~2.70	3.50		埋戻し 1.0 以上	2	75	埋戻し 100%
2.71~3.00	4.00		埋戻し 1.0 以上	2	75	埋戻し 100%
3.01~4.00	4.50		埋戻し 1.0 以上	3	75	埋戻し 100%

埋戻し材料の埋戻し量は、埋戻し材料 2.0t/m²以上とする。

特記：土留工標準図は、自立性のある一般的な土留工に適用され、現場の状況に応じ列装の等、安全上のチェック（構造計算）を行うこと。

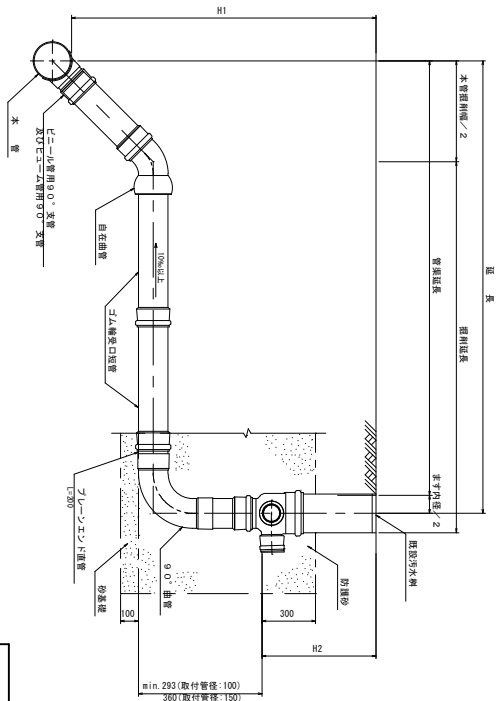
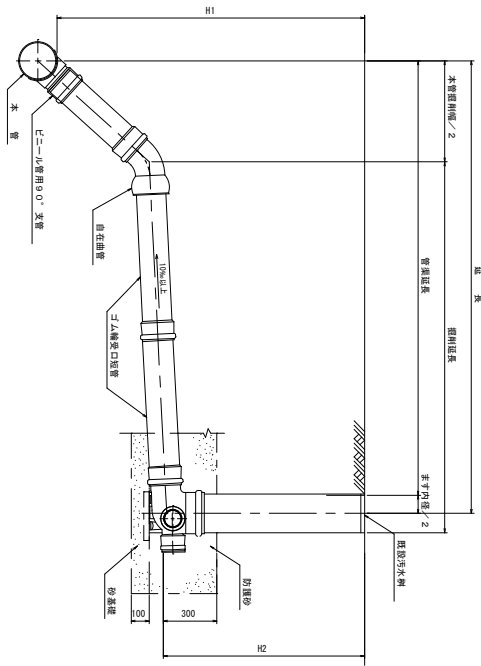
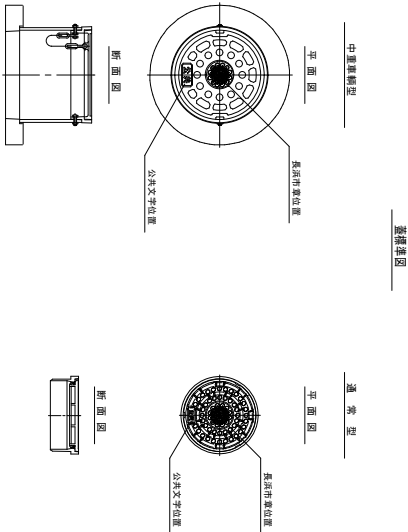
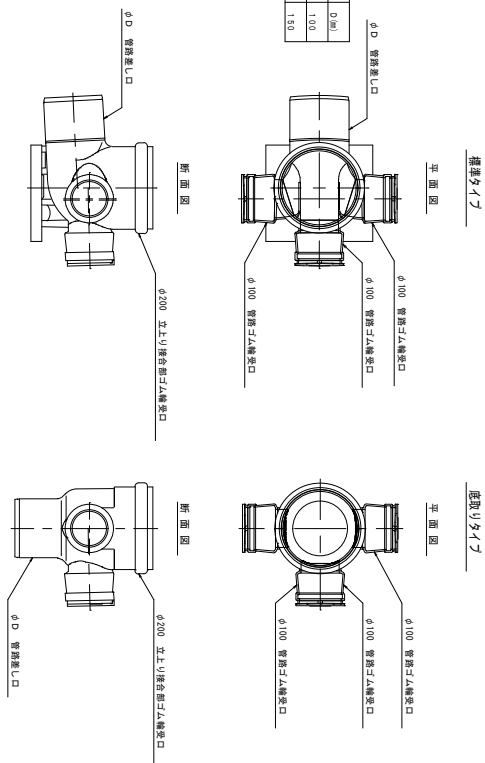
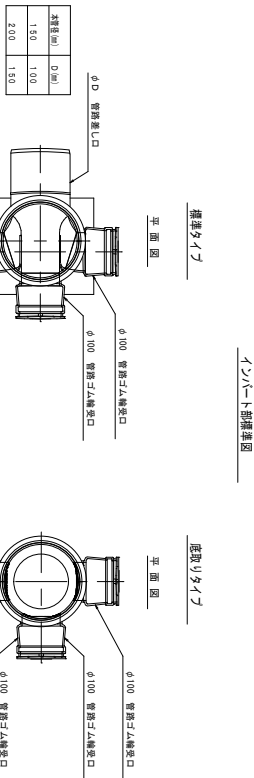
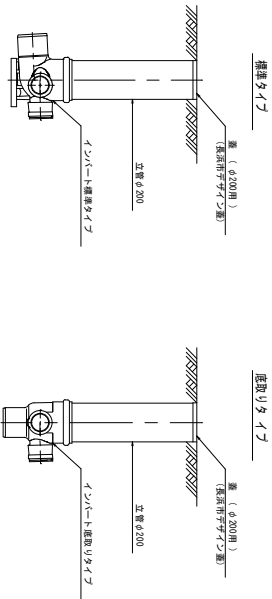
図号	図名	図面
01	市道部	市道部
02	市道部	市道部
03	市道部	市道部
04	市道部	市道部
05	市道部	市道部
06	市道部	市道部
07	市道部	市道部
08	市道部	市道部
09	市道部	市道部
10	市道部	市道部
11	市道部	市道部
12	市道部	市道部
13	市道部	市道部
14	市道部	市道部
15	市道部	市道部
16	市道部	市道部
17	市道部	市道部
18	市道部	市道部
19	市道部	市道部
20	市道部	市道部
21	市道部	市道部
22	市道部	市道部
23	市道部	市道部
24	市道部	市道部
25	市道部	市道部
26	市道部	市道部
27	市道部	市道部
28	市道部	市道部
29	市道部	市道部
30	市道部	市道部
31	市道部	市道部
32	市道部	市道部
33	市道部	市道部
34	市道部	市道部
35	市道部	市道部
36	市道部	市道部
37	市道部	市道部
38	市道部	市道部
39	市道部	市道部
40	市道部	市道部
41	市道部	市道部
42	市道部	市道部
43	市道部	市道部
44	市道部	市道部
45	市道部	市道部
46	市道部	市道部
47	市道部	市道部
48	市道部	市道部
49	市道部	市道部
50	市道部	市道部
51	市道部	市道部
52	市道部	市道部
53	市道部	市道部
54	市道部	市道部
55	市道部	市道部
56	市道部	市道部
57	市道部	市道部
58	市道部	市道部
59	市道部	市道部
60	市道部	市道部
61	市道部	市道部
62	市道部	市道部
63	市道部	市道部
64	市道部	市道部
65	市道部	市道部
66	市道部	市道部
67	市道部	市道部
68	市道部	市道部
69	市道部	市道部
70	市道部	市道部
71	市道部	市道部
72	市道部	市道部
73	市道部	市道部
74	市道部	市道部
75	市道部	市道部
76	市道部	市道部
77	市道部	市道部
78	市道部	市道部
79	市道部	市道部
80	市道部	市道部
81	市道部	市道部
82	市道部	市道部
83	市道部	市道部
84	市道部	市道部
85	市道部	市道部
86	市道部	市道部
87	市道部	市道部
88	市道部	市道部
89	市道部	市道部
90	市道部	市道部
91	市道部	市道部
92	市道部	市道部
93	市道部	市道部
94	市道部	市道部
95	市道部	市道部
96	市道部	市道部
97	市道部	市道部
98	市道部	市道部
99	市道部	市道部
100	市道部	市道部

図 4 熊本県公共施設における200坪未満

NOSCALE

取付管布設標準図

NOSCALE



本管径	取付管径	管口固定材料
φ200	φ150	φ200×φ150
φ150	φ100	φ150×φ100

参考文献

1. 汚水樹深は設計樹深とし、安易に深くしないこと。

2. 現場条件によりやむを得ず設計水深と異なる深さになる場合においては、協議を行うものとする。
3. 川越し等で地下水深が深くなる場合は、ドロッグタイプを使用すること。
4. ただしドロッグタイプが設置不可能な場合は、協議を行うものとする。

認可業種	⑨ 第 四 業 種	認可業種
年度番号	令和年度 北博第35号	
所在地 市川名 地区名	高第3号地区内六小横	
工事名	高第3号地区内六小横地区工事	
地 名	高第3号地区内六小横地区	
図 面 名	公共施設建設 取付管布設構図	
縮 尺	縮 尺	
図面番号	16 枚 / 内 16	

長崎市都市建設部北博地区内六小横地区工事

長浜市都市建設部北部建設局北部建設課